

# 令和3（2021）年度生涯学習・社会教育関係職員研修 実施報告③

実施日：令和3年6月2日（水）

## ○ 演習「学習プログラムの作り方」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 黒尾 貴英  
社会教育主事 田村 充

はじめに、学習プログラムの位置付けや企画の流れ、参加型学習の効果や手法について説明を聞き、次に、学習プログラムの企画・立案の視点を意識しながらプログラム作りに取り組みました。その後、個人で作成したプログラムをグループ内で見合い、新たな視点を自分のプログラムに生かすことにより、プログラムを改善することができました。

プログラム作成後、各班の代表1名がプログラムで工夫した点を中心に発表しました。他のグループの発表を聞くことで多くの気付きがあり、実り多い演習になりました。最後に事業評価の必要性について、具体例を交えた説明を聞きました。

受講された皆様、ぜひ本研修で学んだことを生かし、事業を企画してください。



### 【アンケートの声】

- ・学習プログラムの計画の位置付け、立案上で大切なことを具体的に学ぶことができました。それぞれの立場での考えを共有することができてよかったです。
- ・プログラムの立て方を理論的に初めて学ぶことができました。様式を基に自分なりに改良して、よい企画へとつなげていきたいと思えます。企画の楽しさを味わいながらやっていきたいです。
- ・前任者から引き継いだものを「処理」することで精一杯だったので、何を目指していけばよいのか、光のようなものが見えてよかったです。
- ・プログラムを作るときに、地元の人材や場所、資源などを知っていると、それらを取り入れてよりよいものになります。普段から、どこにどんなものがあるか、どんな人がいるかアンテナを高くして生活したいです。
- ・これからのプログラム作り、今日の学びを六期計画の施策と絡めて生かしていきます。
- ・他の市町の方と交流したり、意見交換をしたりする機会があまりないので、とても勉強になる研修でした。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp